

全国的にみれば訪日外国人が顕著に増加するなか、千葉県では、インバウンド客の滞在時間の短さが課題として改めて浮き彫りとなりつつある。本県が観光の目的地としての存在感を高められるよう、自治体や事業者は対応を一層強化したい。

円安基調などを背景に、訪日外国人が増加している(図表1)。今年の累計人数は9月までで2,688万人と、コロナ禍前のピークである19年の同時期(2,442万人)を上回った。成田空港の国際線外国人旅客数も、今年2月以降、8か月連続で当該月の過去最多を更新している。

もっとも、千葉県における外国人宿泊者数は低迷している(図表2)。1～8月の延べ人数は19年同期比▲9.8%とコロナ禍前に届かず、周辺都県と比較しても回復が遅い。

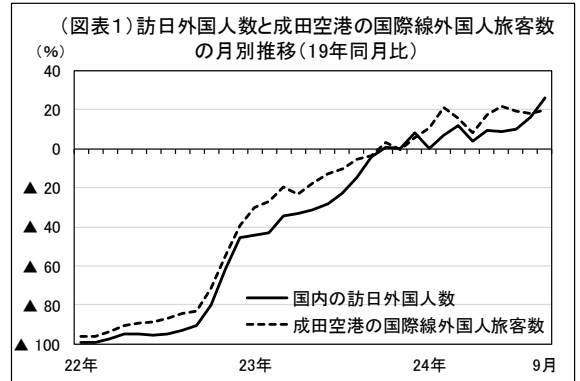
その主な理由としては、国内経済の低迷やビザ発給制度の変更などを背景とした、中国人団体観光客の少なさが挙げられる。千葉県はこれまで、成田エリアの宿泊施設で出入国前後の中国人団体客を積極的に受け入れていたこともあり、全国と比べて訪日中国人の減少による影響が大きくでている(図表3)。

また、コロナ禍を機に、団体ツアーではなく個人で旅行を手配するインバウンド客が加速度的に増加した*。旅行者一人ひとりの行動の自由度が上がったことで、成田空港に到着しても周辺に泊まらず、都心などに直行する外国人が増えていると推測される。

こうした状況のもと、県内事業者は、外国人の滞在促進に向け、体験価値を重視した観光施策を強化している(図表4)。NAAグループ子会社らは、空港を起点として周辺観光地へ送客すべく、体験型プログラム(忍者体験、おにぎり作りなど)の予約サイトなどを運営する新会社を設立したほか、宿泊施設では、インバウンド富裕層などをターゲットに、施設のラグジュアリー化を進める動きなどがみられた。

県も、事業者の取り組みを後押しする。令和6年度の当初予算では、「外国人観光客向け体験観光プログラム魅力向上支援事業費」として新たに850万円を計上した。事業者がインバウンド客向け体験型コンテンツの磨き上げを進めるうえで、専門家がノウハウをレクチャーするセミナーやワークショップなどを開催している。

千葉県におけるインバウンド客の「素通り」はコロナ禍前からみられていた傾向ではあるが、全国的に訪日外国人が顕著に増加するなかで、この課題が改めて浮き彫りとなりつつある。外国人にとっての千葉県が、玄関口や通過地点ではなく観光の目的地として存在感を高められるよう、自治体や観光事業者は対応を一層強化したい。(横倉)



(出所) 日本政府観光局、成田国際空港

(図表2) 全国と首都圏の外国人延べ宿泊者数 (百人)

	19年 1～8月中	24年 1～8月中	19年同期比 (%)
全国	788,870	1,052,009	+ 33.4
千葉県	33,345	30,086	▲ 9.8
東京都	194,259	367,825	+ 89.3
神奈川県	21,246	30,078	+ 41.6
埼玉県	1,457	1,523	+ 4.5

(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

(図表3) 国籍別の外国人延べ宿泊者数 (百人)

	全国 (24年1～8月中)	19年同期比 (%)	千葉県 (24年1～8月中)	19年同期比 (%)
1位	中国 166,031	▲ 19.8	中国 5,625	▲ 59.5
2位	台湾 123,515	+ 32.5	台湾 4,505	+ 9.3
3位	韓国 119,156	+ 43.6	米国 3,965	+ 65.5
4位	米国 90,457	+ 89.0	韓国 1,627	+ 7.9
5位	香港 51,920	+ 10.9	タイ 1,351	▲ 33.7

(注) 集計対象は、従業員10名以上の宿泊施設

(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

(図表4) 県内観光事業者による、インバウンド客誘致などに向けた事例

時期	内容
23年11月	廃校を活用したキャンプ場「キャンピース君津」が、日本の学校生活を疑似体験できるインバウンド客向けプログラムの販売を開始。制服が賞与され、ホームルームや給食のほか、書道などの日本文化も楽しめる。
24年3月	NAAグループ「グリーンポート・エージェンシー」と国の認可法人「地域経済活性化支援機構」が、新会社「プラスナリラボ」を設立。地域産品を使った商品ブランドの開発・販売のほか、空港を起点として周辺観光地へ送客すべく、外国人向けの観光体験予約サイトなどを運営。
5月	成田山新勝寺の参道にある酒蔵「滝沢本店」が、日本の伝統文化である日本酒を気軽に飲み比べしてもらえるよう、県内初のコイン式酒サーバーを設置。
6月	東京ディズニーシーの新ホテル「ファンタジースプリングスホテル」に、TDRのホテルで最高価格帯となる1泊30万円以上の客室が誕生。
9月	「ホテルスプリングス幕張」が、新館改装に伴い、軽食が提供されるエグゼクティブラウンジやキッチン付きのプレミア客室などを新設。

(出所) 各種資料をもとにちばぎん総合研究所が作成

* 訪日外国人のうち団体ツアー参加者が占める割合(各年7～9月)は、19年：17.9%⇒24年：10.7%。中国人に限ると31.2%⇒15.7%。出所：観光庁「インバウンド消費動向調査(旧 訪日外国人消費動向調査)」。